

三 沢 市 立 三 沢 病 院 事 業 運 営 審 議 会 会 議 録																															
開催日時	令和7年7月29日（火） 13時30分～14時26分																														
場 所	三沢市立三沢病院 1階 会議室																														
出席者	<table border="0"> <tr> <td>委 員</td> <td>堤 喜一郎</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鈴木 吾朗</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鈴木 重正</td> <td>委 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>久保田 隆二</td> <td>委 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出 戸 勝</td> <td>委 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>野 川 剛</td> <td>委 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小 向 香 織</td> <td>委 員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（委員7名出席）</p>	委 員	堤 喜一郎	会 長		鈴木 吾朗	副会長		鈴木 重正	委 員		久保田 隆二	委 員		出 戸 勝	委 員		野 川 剛	委 員		小 向 香 織	委 員									
	委 員	堤 喜一郎	会 長																												
	鈴木 吾朗	副会長																													
	鈴木 重正	委 員																													
	久保田 隆二	委 員																													
	出 戸 勝	委 員																													
	野 川 剛	委 員																													
	小 向 香 織	委 員																													
事務局	<table border="0"> <tr> <td>事業管理者</td> <td>伊 藤 悦 朗</td> </tr> <tr> <td>院長</td> <td>斎 藤 聡</td> </tr> <tr> <td>看護局長</td> <td>岡 田 理津子</td> </tr> <tr> <td>事務局長</td> <td>山 本 新 一</td> </tr> <tr> <td>同局管理課長</td> <td>鈴 木 洋 一</td> </tr> <tr> <td>同局同課副参事兼課長補佐</td> <td>中野渡 孝 英</td> </tr> <tr> <td>同局同課副参事兼課長補佐</td> <td>小笠原 賢</td> </tr> <tr> <td>同局同課経営企画係長</td> <td>今 井 理 恵</td> </tr> <tr> <td>同局同課管財係長</td> <td>織 笠 敬 平</td> </tr> <tr> <td>同局同課庶務会計係員</td> <td>別 部 容 寛</td> </tr> <tr> <td>同局医事課長</td> <td>柿 本 尚 人</td> </tr> <tr> <td>同局同課課長補佐</td> <td>蛭 名 剛</td> </tr> <tr> <td>同局同課課長補佐</td> <td>田 中 志 依</td> </tr> <tr> <td>同局同課医事係長</td> <td>苔米地 望</td> </tr> <tr> <td>同局同課医療情報管理係長</td> <td>木 村 真 也</td> </tr> </table>	事業管理者	伊 藤 悦 朗	院長	斎 藤 聡	看護局長	岡 田 理津子	事務局長	山 本 新 一	同局管理課長	鈴 木 洋 一	同局同課副参事兼課長補佐	中野渡 孝 英	同局同課副参事兼課長補佐	小笠原 賢	同局同課経営企画係長	今 井 理 恵	同局同課管財係長	織 笠 敬 平	同局同課庶務会計係員	別 部 容 寛	同局医事課長	柿 本 尚 人	同局同課課長補佐	蛭 名 剛	同局同課課長補佐	田 中 志 依	同局同課医事係長	苔米地 望	同局同課医療情報管理係長	木 村 真 也
事業管理者	伊 藤 悦 朗																														
院長	斎 藤 聡																														
看護局長	岡 田 理津子																														
事務局長	山 本 新 一																														
同局管理課長	鈴 木 洋 一																														
同局同課副参事兼課長補佐	中野渡 孝 英																														
同局同課副参事兼課長補佐	小笠原 賢																														
同局同課経営企画係長	今 井 理 恵																														
同局同課管財係長	織 笠 敬 平																														
同局同課庶務会計係員	別 部 容 寛																														
同局医事課長	柿 本 尚 人																														
同局同課課長補佐	蛭 名 剛																														
同局同課課長補佐	田 中 志 依																														
同局同課医事係長	苔米地 望																														
同局同課医療情報管理係長	木 村 真 也																														
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 事業管理者挨拶 3 案件 <ol style="list-style-type: none"> （1）令和6年度三沢市立三沢病院事業会計決算について （2）令和7年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第1号）について （3）三沢市立三沢病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について （4）欠損金の補填について 4 その他 5 閉会 																														

会議の経過及び審議結果

◇案件

- ・案件（１）として、令和７年三沢市議会第３回定例会に提出予定の令和６年度三沢市立三沢病院事業会計決算について、原案のとおり了承された。
- ・案件（２）として、令和７年三沢市議会第３回定例会に提出予定の令和７年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算について、原案のとおり了承された。
- ・案件（３）として、令和７年三沢市議会第３回定例会に提出予定の三沢市立三沢病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について、原案のとおり了承された。
- ・案件（４）として、令和７年三沢市議会第４回定例会に提出予定の欠損金の補填について、原案のとおり了承された。

◇主な質疑

- ・案件（１）

【委員】「資本的収支額が資本的支出額に不足する額 174,186,292 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,164,258 円で補てんし、なお不足する額 173,022,034 円は一時借入金で措置するものとする」とあるが、その一時借入金の数字はどこに記載されているか。

【三沢病院】本日の資料には出てこないが、現在作成中の決算書のキャッシュフロー計算書に記載され、令和６年度は 16 億円借入れ、13 億 4,000 万円返済している。

【委員】4 億 4,000 万円の赤字となっているが、他会計からの繰入金があるため、実際には 11 億円程度の赤字で、昨年と変わらない状況という理解で良いか。

【三沢病院】医業収支では、昨年度と同程度である。

【委員】経営指標の数字を見てどういう状況と判断するのか。

【三沢病院】経常収支は、82.9 で 100 を目指すべき。医業収支比率は、73.4 で費用が多い状態。修正医業比率は、他会計からの繰入金を除いたもので医業収支比率よりも悪くなる。累積欠損比率は、少ない方が良いが病院事業では少なくなることはない数字である。給与費対医業収益比率は給与費が 65%、材料費対医業収益比率は 26%で、併せて 90%となっている。

【委員】令和５年度は、ほとんどの病院が赤字であったが、その中でも三沢病院は赤字額が突出していた。その中で、三沢病院はどこを改善すべきなのか。

【三沢病院】今後、公表される類似病院の決算統計と比べて確認し、検討を重ね改善したい。

【委員】新年度の４カ月の状況はどうなのか。

【三沢病院】入院については、在院日数、患者数ともに増加傾向にある。入院収益も 7,000 万円の増加となっている。

【委員】病院経営が厳しい状況となっているが、国や県に対しての要望行動は実施しているか。

【三沢病院】来年、十和田市立中央病院が県への重点要望を提出する予定となっており、三沢病院も賛同する形で要望する。

【委員】収入を増やすためにペットCT検査を観光と結びつけるとか、そういった工夫をしないのか。

【三沢病院】検査の枠が空いていれば可能であり、関係科と協議したい。なお令和6年度は、1日の上限が8件のところ、1日平均で5件利用されている。

【委員】6億8,000万円の基準外繰入金を入れる必要性は何だったのか。

【三沢病院】資金繰りが厳しく、資金不足比率が20%を超えると経営健全化団体となってしまう、起債の借入などに制限が出てくるため、回避するために一般会計から繰入を行った。

【委員】昨年からアドバイザーが来ているが、その成果はどのようなものがあるか。

【三沢病院】アドバイザーからの助言により、220床から198床へと変更し、診療報酬制度への柔軟な対応が可能となり、収益構造に一定の改善が見られている。

・案件（2）

【委員】無停電電源装置は今年度に更新しなくて良いのか。

【三沢病院】耐用年数は過ぎているが、まだ使用できている。生理検査システムと比べた結果、無停電電源装置の寿命の方が長いと判断し、生理検査システムを優先した。

・案件（3）

【委員】現行の育児休業では、1日に2時間で、1年間の上限はないということか。

【三沢病院】現行制度では、上限はない。

【委員】今回の改正で、1日に2時間か、それとも1年間に10日間相当分にするか、1年を通してどちらかを選ぶという事か。

【三沢病院】職員が使い勝手の良い方を1年間で選択する。

◇その他

・経営強化プランについて

経営強化プランにおける収支計画と決算内容について確認した。